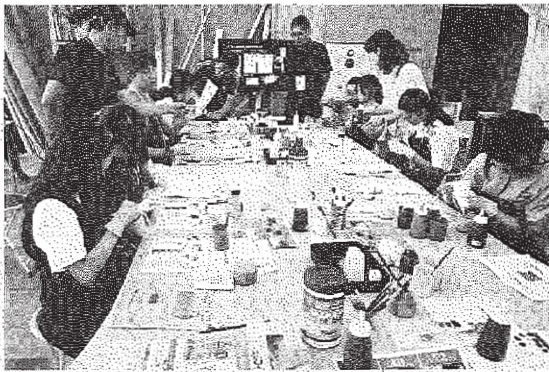


塗料報知

アートをキーに

移住・定住の仕組み作り



④中之条ヒエンナール2025におけるアトミクスのワークショップ（提供：アトミクス）

塗料メーカーのアトミクスは、群馬県中之条町の「中之条ヒエンナール」や「アートフェア中之条」への協賛を通じ、アートと地域社会を融合させる取り組みを行っている。単なる資金・物資の提供にとどまらず、社員が現地の生活者やアーティストと交わることで、製品の開発の知見獲得や社内モチベーションの向上に繋がっている。

「中之条ヒエンナール2023」および「20

25」では、廃校などを活用した会場に塗料を提供し、アーティストの要望に沿えば、作品制作に使用してもらった。グループ企業のアトムサポートと協力し、調色体験ワークショップ「色十（いろふらす）」を実施した。前半の座学で三原色や色相環を学び、後半の実技では自社製品を使って理想の色を創る楽しさを伝えた。また、シミュレーション眼鏡等を用いた色覚

多様性の啓蒙プログラムも盛り込み、社会インフラにおける色の重要性も伝えている。ワークショップでは、クイズ形式の導入や創った色を塗るトートバッグ着色体験もあり大人も熱中し、親子で楽しむ姿やリピーターも見られた。なお、参加費はすべて同町へ寄付されている。現地の活動は、一過性のメセナ活動を超えた意義を持つ。安全な自社製品が笑顔で使われる様子は社員のやりがいとなり、塗料の普及活動の一端に繋がりたいとしている。また、参加者の自由なアイデアやアーティストとの交流は、カラートレンドの把握や今後の新商品開発への貴重なヒントとなっている。

同社は地域貢献や業界の発展を目指し、2027年の次回ヒエンナールへの参加も視野に入れている。

さらに、2026年6月に開催される「第2回 ArtFair NAKANOJO2026」にも協賛。アートを身近に感じる試みを支援していく。